

事業番号	事務事業名	特産物組織育成対策補助金	所管課名	産業観光課	令和 2 年度課長名	小椋 正己
02960	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農政係	担当者・シート作成者	釜本 遥平
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等	鏡野町補助金交付規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	地域特産物の生産組織に補助金を交付する事業である。補助金は、栽培講習会の開催、新規栽培者の掘り起し、先進事例調査等に活用される。業務手順は、①交付申請書の受理、②交付決定通知、③実績報告書の受理、④額の確定通知、⑤請求書の受理、⑥補助金の支払である。	園芸振興を図るため、鏡野町園芸生産組合協議会の構成組織の活動に対し、晴れの国岡山農協(事務局)からの助成要望を受け、補助金交付が開始された。晴れの国岡山農協も同様に、各組織に助成をしている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 特産物の生産拡大	ア 構成組織数	グループ	見込 実績	8 8	8 8	8 8	8 8	8 8
イ	イ 構成員数	人	見込 実績	150 143	150 142	150 137	150 150	150 150
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 特産物の生産拡大	ア 栽培面積	ha	目標 実績 達成率	20.5 20.0 97.6%	20.5 20.1 98.0%	21.0 20.1 95.7%	21.0 21.0	21.0 95.7%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 補助金等実績報告書の受理・審査	ア 実績報告書の受理・審査件数	件	目標 実績 達成率	8 8 100.0%	8 8 100.0%	8 8 100.0%	8 8	8 100.0%
イ 補助金の支払	イ 補助金の支払件数	件	目標 実績 達成率	8 8 100.0%	8 8 100.0%	8 8 100.0%	8 8	8 100.0%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計	款 06 農林水産業費	項 01 農業費	目 03 農業振興費	大事業 28 中事業 01	予算上の事業名	事業番号										
						特産物組織育成対策補助金	02960										
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債							町債										
その他特財							その他特財										
一般財源	480	480	480	480	480		一般財源	480	480	480	480	480					
合計	480	480	480	480	480		合計(A)	480	480	480	480	480	0				
財源名称	従事正職員人数							1	1	1	1	1					
	延べ業務事務時間							20	15	15	15	15					
	人件費計(千円)(B)							68	53	50	50	50	-2				
最終予算額		480 千円	予算執行率		100.0%	トータルコスト(A+B)		548	533	530	530	530	-2				
主な支出事業内容(予算)	活動補助金						480 千円										
	主な支出事業内容(決算)						活動補助金						480 千円				

事業番号	02960	事務事業名	特産物組織育成対策補助金	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	--------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 構成組織数は、平成17年の町村合併時に8組織だったものが、平成18年と平成19年に1組織ずつ新規加入したが、平成22年と平成25年に1組織ずつ活動を停止したため、現在、8組織となっている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 平成20年度に補助金の額を見直し、構成員数に応じて、9人以下50,000円、10～19人60,000円、20～29人70,000円、30人以上80,000円に改めた。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 補助金額は減額されたが、生産組織からは貴重な財源であり、交付を継続してほしいとの意見が寄せられている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	特産物の生産拡大、栽培技術の向上により、産地間競争力の確保に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	鏡野町は以前から園芸振興に取り組んでおり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	各組織とも特産物の生産拡大、栽培技術の向上等に積極的に取り組んでおり、適切である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	補助金の額が少ないため、生産拡大に直接貢献しているとは言い難い。意欲的な生産者には、国・県等の補助事業を検討する必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	構成組織に負担を強いることになり、活動の縮小が考えられる。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	限られた予算の中で、新たな手法・手段に切り替えていくのは、困難である。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	平成20年度に補助金額を減額している。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方を見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	必要最小限の業務時間であり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	鏡野町園芸生産組合協議会の構成生産組織だけへの助成になっている。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 一部の組織において生産者の減少に伴い、定例会議のみの活動で実質的な活動が行えなくなりつつあるので、組織の見直しも必要と考える。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
津山農協など関係機関との連携・協力を強化していく。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							